

双葉西小だより

令和4年 2月 1日 文責 学校長 平塚 克人



全員がそろっているからこそその学校

市内小中学校は先週27日（木）より分散登校に入りました。本校でも2学期開始直後の時の分散登校と同じように、地区割りをしてAとBの2グループに分け、それぞれのグループが1日おきの登校になっています。今のところ今月9日（木）までが分散登校で、10日（木）から通常通りに全校児童の登校になる予定です。その頃には少しでも感染状況が落ち着いてきていれば良いのですが、こればかりは何とも言えません。現在の感染状況から考えますと、現段階では分散登校の期限延期も視野に入れて今後のことを考えなければならないということが、頭の中で見え隠れしています。保護者の皆様のご負担や児童の履修状況を考えますと、予定通りの通常登校を願うばかりです。

さて、分散登校期間中にはなりましたが、昨日31日（月）からようやく全学年全学級そろっての登校になりました。久しぶりに会う子供たちの顔を見ることができたり、どの教室にも子供たちがいて学校生活を送っていたりすることで、やはり全員がそろっているからこそその学校だなということを痛感しました。家族の場合も同様で、普段、家族そろって寝食を共にしている時はさほど感じませんが、出張や旅行等で本来居るべき人が居ない時には、その存在のありがたさを感じます。そのためにも、引き続き、感染症防止対策のご協力をお願いいたします。

分散登校になってからの学校の様子



息が上がるような鬼ごっこ、近距離で争うサッカーやドッジボール等を自粛して、同学年で遊ぶようにしています。この日は短縄跳び、ダルマさんが転んだをやっていました。



コロナ禍になってから、給食は授業風景のような前向きの黙食です。どの学級も話したいのを我慢して静かに食べています。



地区毎でのA・B2つのグループ分けですので、学級によっては少し偏りがあります。人数が少ないので、全員で配膳をしている学級もありました。



暖房は入っているので部屋全体は温かいのですが、換気のために窓が少しずつ開いていますので、その近くは少しヒンヤリとします。



今回の分散登校では、4年生以上がタブレットを持ち帰るようになっていますが、3年生も授業で積極的に利用しています。



低学年、しかも少人数なので重い机やいすを運ぶのも大変です。しかし、どの子も先生と一緒に黙々と働いていました。

チェックカード記入についての確認

感染力が著しく強いオミクロン株の市中感染が全国各地で確認され、山梨県内におきましても依然、猛威を振るっています。この状況を受けまして、再度、以下の点につきまして、ご理解とご協力をお願い致します。

- ① 朝は特に、お忙しいと思いますが、保護者が正確に記入をしてください。
- ② 朝の体温は必ず測定して記入してください。
- ③ 同居家族で発熱等風邪症状がある場合は児童の登校は控えてください。（出席停止です）

健康チェックカード<記入例>

甲斐市立双葉西小学校（1）年（1）組 名前（ 双葉 双子 ）									
		お子さんの、平熱をご記入ください。					平熱（ . ℃）		
月 日	曜日	児童本人					同居ご家族について		担任 チェック （し点）
		朝の体温	発熱	のどの痛み	その他	具体的な症状	現在、発熱等風邪症状のある人はいますか？	「有」の場合、誰が、どのような症状ですか？受診済みの場合には、診断名等のご記入をお願いします。	
〇月〇日	土	休みの日も健康チェックをお願いします。					☐	有 ・ 無	
〇月〇日	日	☐	☐	☐	☐		同居されているご家族の中で、風邪症状等みられる場合にも、児童の登校は控えてください。		
〇月〇日	月	☐	☐	☐	☐				
〇月〇日	火	☐	☐	☐	☐				

新型コロナウイルス感染症による臨時休校の後、 再び学校が始まるにあたって ～児童の皆さんへ～

〈1 / 24（月）オンライン全校放送より〉

20日（木）から2日間の突然の休校で皆も驚いたと思うし、不安にさせてしまいました。今、日本中でこれまでにないような多くの感染者が出て困っています。双葉西小でも多くの感染者が出ています。3学期が始まる時は、まさかこんなに感染者が増えてくるとは考えてもいませんでした。しかし、今は、どんなに予防をしていても、いつ、誰が感染しても不思議ではない状況になってきました。だから、しっかりとマスクをしていたりこまめに手洗いをしたりしている人が感染してしまうことはどうしようもありません。感染したことは悪いことではありません。感染を広めないようにすることが最も大切です。

感染することで一番つらく悲しいのは本人やお家の人です。感染してもすぐに治せる薬や方法がまだない不安と闘いながら、そして、感染した自分のことを友だちはどのように思っているのだろうと心配しながら休んでいることでしょう。感染した人や症状のある人を責めるのではなく、「感染した人たちが早く治ってほしい」という気持ちを持ち、治って戻ってきたときには、「治って良かったね。」と温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が実際に感染したら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。

他の学校では、感染した人達が傷つくような言葉をかけられたり、特別な扱いをされたりしているということがあったと聞いたことがあります。この双葉西小学校では、そのような友だちが傷つくようなことを言ったり、したりするような子どもは絶対いないと思っています。それは、皆さんの学校生活を見ていれば分かります。

感染症と話はそれますが、2学期が始まったときに私が腰痛のため杖を使っていたのを覚えているでしょうか。私は腰が痛すぎて、一歩歩くのもやっと、寝ていても寝返りが打てない、痛すぎて夜眠れない、今でも思い出したくないほど、痛みの激しい状態でした。しかし、2学期が始まって、皆さんの優しさが一番の薬でした。下駄箱に私の靴を入れてくれたり、上履きを出してくれたりしました。鞆を持ってくれた人もいました。腰をさすってくれた人もいました。「まだ痛みますか。」「大丈夫ですか。」「今日はどうですか。」など、たくさんの声かけもしてもらいました。校長先生が子供たちからこんな言葉をかけてもらうなんて、はにかしいなと思いましたが、とってもとってもうれしかったです。だから、先生たちは皆さんを信じています。

同じことの繰り返しになりますが、「感染した人たちが早く治ってほしい」という気持ちを持ち、治って戻ってきたときには、「治って良かったね。」と温かく迎えましょう。